



▲伐木だけでなく、下草刈や地ごしらえの機械たちにも注目



▲育樹に欠かせぬ草刈機



▲パワフルな林業機械たち

12月に沖縄で開催された全国育樹祭に
出席して参りました

最初は森林・林業・環境機械展示実演会の会場へ。これまでのみどりの女神の先輩たちは皆さんが林業機械やチェーンソーの講習を受けていらしたのですが、私はクアオルトの資格を取ったため、任期中に機械に触ることはありませんでした。なので今回も見るだけと思っていたら…安全に配慮した形で操作体験をさせてもらえました！機械の力で大きな丸太を軽々伐ったり、砕いたり、そのパワーをひしひしと感じました。

操作を終えた後、いつか全ての作業が機械で出来る日がくるかもしれないと思いました。ですが、想像してみると全て機械に頼るのも寂しいなと個人的には感じています。森には森の匂いや光があって、特別な空間です。その森からいただく恩恵がたくさんあります。事故防止や働きやすさの面で優れた機械を活用しつつ、森から元気を貰いながら働き、生活を充実させていけたらと思います。

全国育樹祭の本番の式典の日。お天気にも恵まれ沖縄ならではの出し物の数々にほっこりしながら式典に出席しました。

これまでたくさん植樹イベントに出させていただけました。その都度、植えた木が林になり豊かな森になるまで、人の手が必要であることを思い知らされます。



▲全国育樹祭の沖縄コンベンションセンターにて



▲人生初のチェーンソー挑戦。電動で扱いやすかったです



▲シミュレーターで操作体験

私達の生活に木があることは決して当たり前ではなく、戦後から一生懸命植え続けてきてくれた方々の頑張りのおかげです。私達は普段の生活に木を取り入れ、木のぬくもりや温かさを身近に感じることが出来ます。式典を眺めながら、今度は私が未来の為に植えて育てる番なのだと思います。

「みどりの女神」としての一年を振り返って

森林から学ぶことに溢れた一年間でした。森林・林業界は奥が深く、知れば知るほど興味が湧き、もっと学びたいと心を動かされました。こう考えたのも、林業の魅力に加え、森林・林業に関わる方々の仕事に対する姿勢や熱意を間近で見ることが出来たり、お話を沢山聞くことが出来たからだだと思います。

新しい扉を開けたこと、宝塚を退団してからダンス以外に興味を持たなかった私がここまで夢中になっていることに私自身が一番驚いています。私はこれから改めて表現者として舞台と向きあい、技術を磨いていくつもりです。そしてこれはまだ希望ですが、表現と森林を結びつけた何かをやってきたいと思っています。

全国各地で出会った全ての方々がとても温かく、私の活動のパワーの源になりました。のびのび沢山の事を吸収出来た私はこの1年本当に幸せでした。ありがとうございました！次のみどりの女神のことも宜しく願っています！